

2 議題

(2) 市民団体等へのヒアリングについて（中間報告）

外国人市民がいることが常態となっている中で、依然として地域の中では外国人に対して戸惑いがあることは否めません。

こうした外国人に不慣れな地域社会の解消に向けて、現在、市内でも外国人数の多い地区（高蔵寺区・東野区・味美区）及び日本語教室（ふれあい教室）の生徒に対してヒアリング等を実施し、市内で外国人市民と日本人市民が共生していく上での課題等の把握に努めているところです。

【地域の関係団体へのヒアリング】

- ・ 7月18日（水） 味美連合区へのヒアリング
- ・ 8月14日（火） 東野区へのヒアリング
- ・ 8月下旬予定 高蔵寺区へのヒアリング

【外国人市民へのヒアリング】（2～4ページ ヒアリング結果）

- ・ 7月27日（金） ふれあい教室生徒へのヒアリング（18名）
- ・ 7月29日（日） ふれあい教室生徒へのヒアリング（32名）

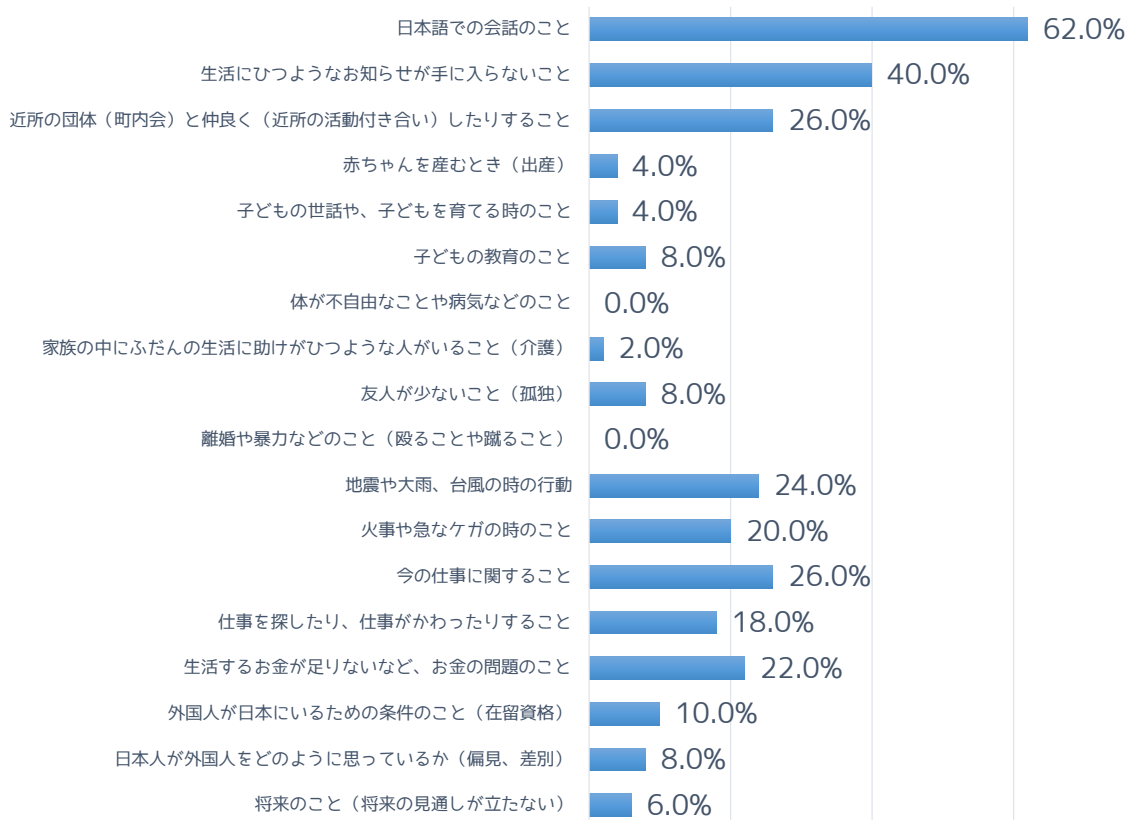
現在不安なこと

Q1.あなたが現在不安に感じていること、困っていることはありますか。次の答えの中から選んでください。

現在不安なこと（複数回答）

N=	日本語での会話のこと	生活にひつようなお知らせが手に入らないこと	近所の団体（町内会）と仲良く（近所の活動付き合い）したりすること	赤ちゃんを産むとき（出産）	子どもの世話や、子どもを育てる時のこと	子どもの教育のこと	体が不自由なことや病気などのこと	家族の中にふだんの生活に助けがひつような人がいること（介護）	友人が少ないこと（孤独）
100.0% 50	62.0% 31	40.0% 20	26.0% 13	4.0% 2	4.0% 2	8.0% 4	0.0% 0	2.0% 1	8.0% 4
	離婚や暴力などのこと（殴ることや蹴ること）	地震や大雨、台風の時の行動	火事や急なケガの時のこと	今の仕事に関すること	仕事を探したり、仕事がかわったりすること	生活するお金が足りないなど、お金の問題のこと	外国人が日本にいるための条件のこと（在留資格）	日本人が外国人をどのように思っているか（偏見、差別）	将来のこと（将来の見通しが立たない）
	0.0% 0	24.0% 12	20.0% 10	26.0% 13	18.0% 9	22.0% 11	10.0% 5	8.0% 4	6.0% 3

0% 20% 40% 60% 80%



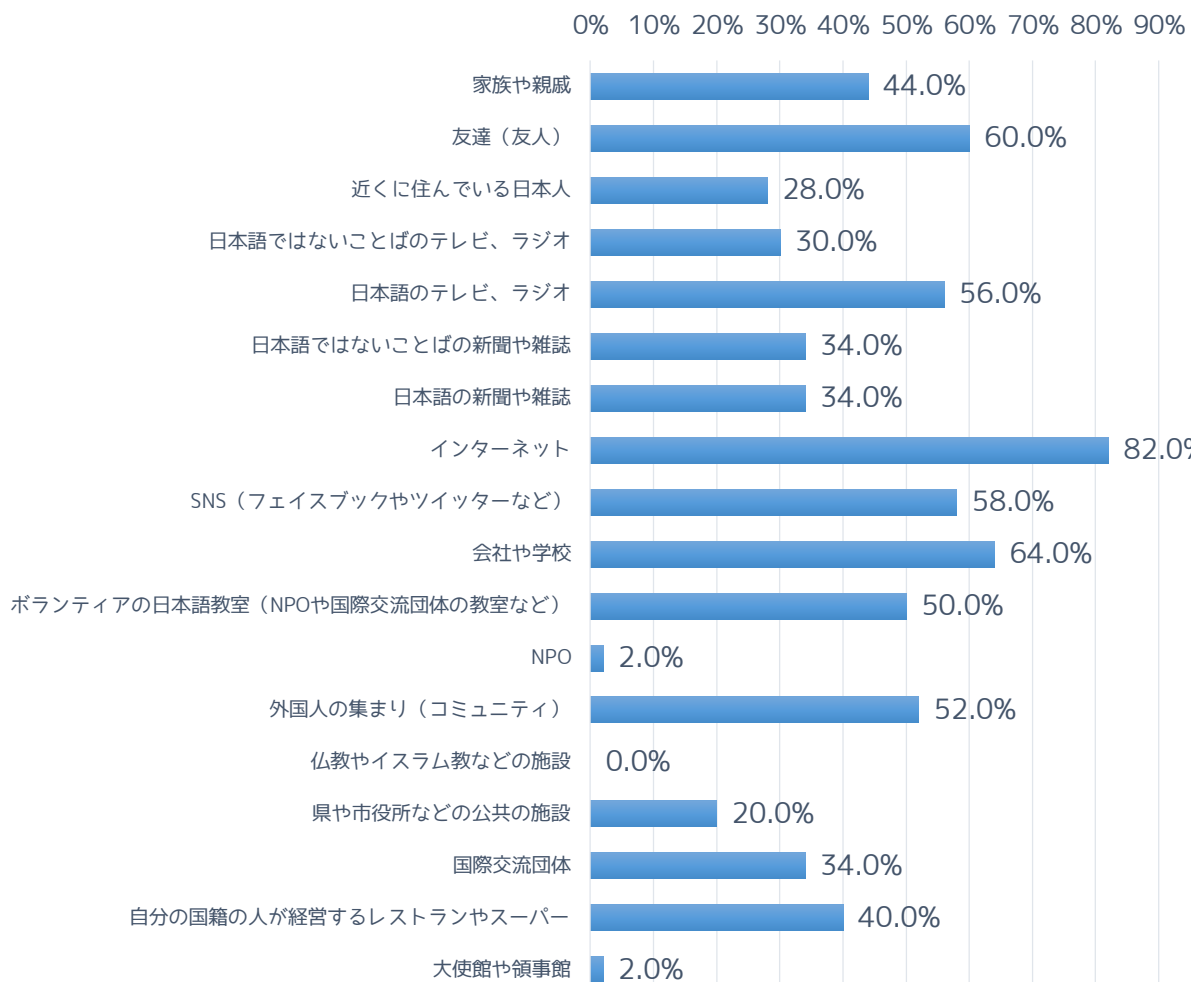
62.0%の方が「日本語での会話にのここと」に不安を感じていることが分かります。次いで「生活にひつようなお知らせが手に入らないこと」40.0%、「近所の団体（町内会）と仲良く（近所の活動付き合い）したりすること」26.0%、「今の仕事に関するここと」26.0%の順となり、日々生活していくための環境について不安を感じていることが分かりました。

情報入手先

Q2.あなたは何を通して生活に必要な情報を得ていますか。次の答えの中から選んでください。

情報入手先（複数回答）

N=	家族や親戚	友達（友人）	近くに住んでいる日本人	日本語ではないことばのテレビ、ラジオ	日本語のテレビ、ラジオ	日本語ではないことばの新聞や雑誌	日本語の新聞や雑誌	インターネット	SNS（フェイスブックやツイッターなど）
100.0% 50	44.0% 22	60.0% 30	28.0% 14	30.0% 15	56.0% 28	34.0% 17	34.0% 17	82.0% 41	58.0% 29
	会社や学校	ボランティアの日本語教室（NPOや国際交流団体の教室など）	NPO	外国人の集まり（コミュニティ）	仏教やイスラム教などの施設	県や市役所などの公共の施設	国際交流団体	自分の国籍の人が経営するレストランやスーパー	大使館や領事館
	64.0% 32	50.0% 25	2.0% 1	52.0% 26	0.0% 0	20.0% 10	34.0% 17	40.0% 20	2.0% 1



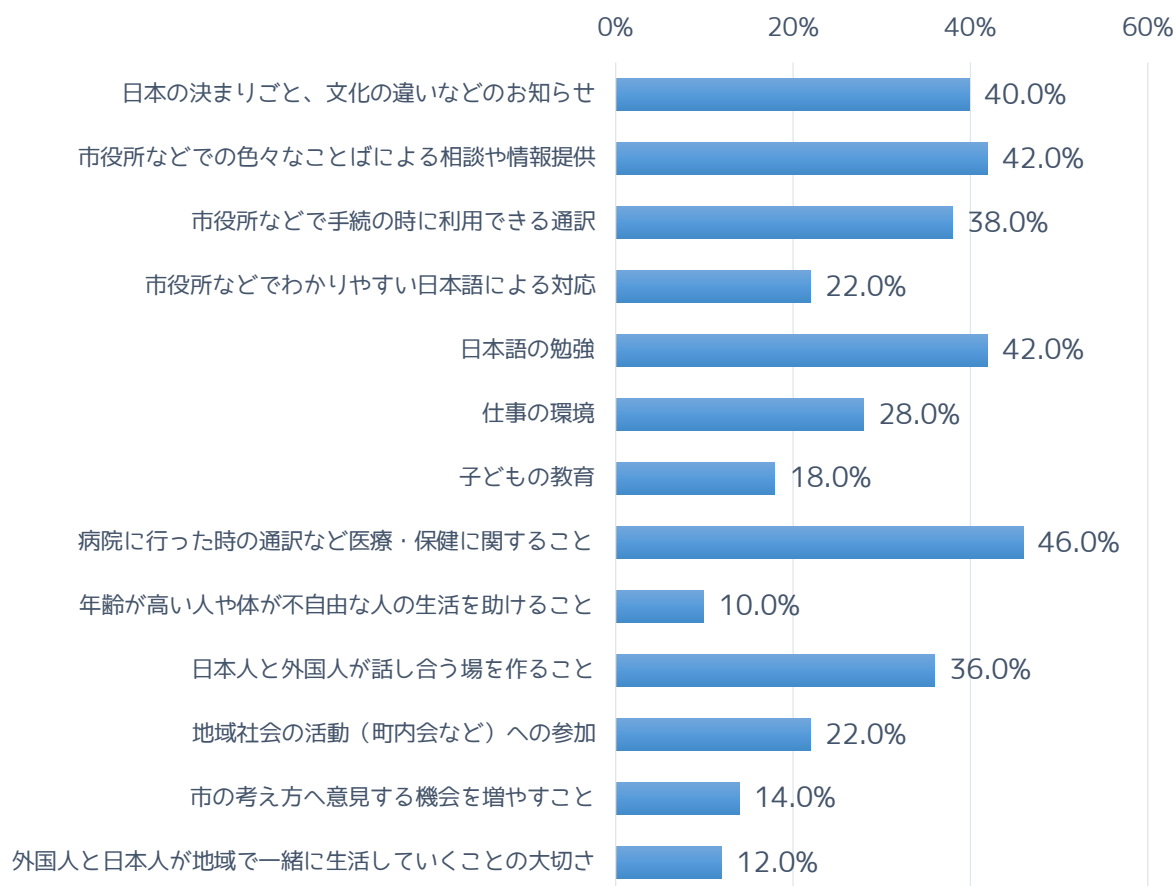
「インターネット」が82.0%と一番多く、次いで「会社や学校」64.0%、「友達（友人）」60.0%、「SNS（フェイスブックやツイッターなど）」58.0%の順となり、インターネット環境や身近な関係からの情報入手が多いことが分かりました。

行政への要望

Q3.市の取組みで、良くしてほしいことは何ですか。次の答えの中から選んでください。

行政への要望（複数回答）

N=	日本の決まりごと、文化の違いなどのお知らせ	市役所などでの色々なことばによる相談や情報提供	市役所などで手続の時に利用できる通訳	市役所などでわかりやすい日本語による対応	日本語の勉強	仕事の環境	子どもの教育
100.0% 50	40.0% 20	42.0% 21	38.0% 19	22.0% 11	42.0% 21	28.0% 14	18.0% 9
	病院に行った時の通訳など医療・保健に関すること	年齢が高い人や体が不自由な人の生活を助けること	日本人と外国人が話し合う場を作ること	地域社会の活動（町内会など）への参加	市の考え方へ意見する機会を増やすこと	外国人と日本人が地域で一緒に生活していくことの大切さ	
	46.0% 23	10.0% 5	36.0% 18	22.0% 11	14.0% 7	12.0% 6	



行政への要望については、「病院に行った時の通訳など医療・保健に関すること」が46.0%と最も多く、次いで「市役所などでの色々なことばによる相談や情報提供」42.0%、「日本語の勉強」42.0%、「日本の決まりごと、文化の違いなどのお知らせ」40.0%の順となり、現在施策を実施しているにも関わらず、「知らない」「聞いていない」など、必要な方に適切な情報が届いていない可能性もあることから、情報提供について、知りたい情報を分かりやすく提供していく必要があることが分かりました。